**知財様式2**

知　的　財　産　権　移　転　承　認　申　請　書

令和　　年　　月　　日

国立研究開発法人科学技術振興機構　殿

所在地

機関名

役職名

契約担当者名

業務の題目

令和〇年度次世代科学技術チャレンジプログラム

「企画名」

本件業務の成果に係る知的財産権の移転について承認を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 知的財産権の種類 |  |
| 発明等の名称 |  |
| 設定登録番号又は出願番号等 |  |
| 移転先名称 （住所） |  |
| 移転の理由 | 以下のいずれかの番号に〇を付けるとともに、その具体的な理由を下欄に記載する。  1．移転先が、国内事業活動（製品の製造、製品化に向けた応用・開発研究、サービスの提供等）において当該知的財産権を利用するため  2．移転先が、海外事業活動において当該知的財産権を利用することにより、我が国に利益が還元される見込みであるため  3．その他 |
| （具体理由）  《注意事項参照》 |
| 特記事項 |  |

以上

（注意事項）

具体的な理由については、以下の要領に従って記載してください。

（1）理由が1の場合

国内事業活動の内容を以下の観点を適宜用いて具体的に説明してください。（用いる観点は、以下に限定されるものではありません。）

・当該知的財産権を利用した製品の製造、製品化に向けた応用・開発研究、サービスの提供等の実績または具体的な計画

・当該知的財産権に類する技術を用いた製品の製造またはサービスの提供の実績　等

（2）理由が2の場合

海外事業活動の内容を以下の観点を適宜用いて具体的に説明してください。（用いる観点は、以下に限定されるものではありません。）

・当該知的財産権を利用した製品の製造、製品化に向けた応用・開発研究、サービスの提供等の実績または具体的な計画

・当該知的財産権に類する技術を用いた製品の製造またはサービスの提供の実績　等

さらに、当該知的財産権の利用による、我が国に利益がもたらされることが明確であることを、以下の観点を適宜用いて具体的に説明してください。（用いる観点は、以下に限定されるものではありません。）

・移転元の知的財産戦略における当該専用実施権等設定の位置づけ（国際分業戦略等）等

・当該移転により知的財産権利者及び我が国にもたらされる利益の見込み　等

（3）理由が3の場合

当該知的財産権の移転が必要である理由を具体的に説明してください。

**（記入要領）**

提出日をご記入ください。

**知財様式2**

知　的　財　産　権　移　転　承　認　申　請　書

令和7年3月20日

国立研究開発法人科学技術振興機構　殿

所在地　科学県科学技術市技術1丁目1番地1号

**（記入要領）**

申請対象プログラムの年度と企画名をご記入ください。

機関名　科学技術大学

役職名　学長

契約担当者名　科学　太郎

**（記入要領）**

公印を省略して提出する場合には、機関の

規定に則ってください。

（＜公印省略＞と記載するなど）

業務の題目

令和○年度次世代科学技術チャレンジロプログラム

「輝く未来で活躍する理系人材育成プロジェクト」

**（記入要領）**

移転先が複数ある場合は、すべての移転先についてご記入ください。

本件業務の成果に係る知的財産権の移転について承認を受けたいので、下記のとおり申請します。

**（記入要領）**

特許権、実用新案権、意匠権等、該当するものを記載してください。

**（記入要領）**

名称などの記載については、特許の明細書等にて確認の上、ご記入ください。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 知的財産権の種類 | 特許権 |
| 発明等の名称 | 〇〇〇〇〇の設計法 |
| 設定登録番号又は出願番号等 | 特願2022－123456789 |
| 移転先名称 （住所） | 科学県〇〇市〇〇3丁目2番地1号 |
| 移転の理由 | 以下のいずれかの番号に〇を付けるとともに、その具体的な理由を下欄に記載する。  1．移転先が、国内事業活動（製品の製造、製品化に向けた応用・開発研究、サービスの提供等）において当該知的財産権を利用するため  2．移転先が、海外事業活動において当該知的財産権を利用することにより、我が国に利益が還元される見込みであるため  3．その他 |
| （具体理由）  **（記入要領）**  後述の注意事項を参照してご記入ください。  《注意事項参照》 |
| 特記事項 |  |

以上

（注意事項）

具体的な理由については、以下の要領に従って記載してください。

（1）理由が1の場合

国内事業活動の内容を以下の観点を適宜用いて具体的に説明してください。（用いる観点は、以下に限定されるものではありません。）

・当該知的財産権を利用した製品の製造、製品化に向けた応用・開発研究、サービスの提供等の実績または具体的な計画

・当該知的財産権に類する技術を用いた製品の製造またはサービスの提供の実績　等

（2）理由が2の場合

海外事業活動の内容を以下の観点を適宜用いて具体的に説明してください。（用いる観点は、以下に限定されるものではありません。）

・当該知的財産権を利用した製品の製造、製品化に向けた応用・開発研究、サービスの提供等の実績または具体的な計画

・当該知的財産権に類する技術を用いた製品の製造またはサービスの提供の実績　等

さらに、当該知的財産権の利用による、我が国に利益がもたらされることが明確であることを、以下の観点を適宜用いて具体的に説明してください。（用いる観点は、以下に限定されるものではありません。）

・移転元の知的財産戦略における当該専用実施権等設定の位置づけ（国際分業戦略等）等

・当該移転により知的財産権利者及び我が国にもたらされる利益の見込み　等

（3）理由が3の場合

当該知的財産権の移転が必要である理由を具体的に説明してください。